



学校だより
ながや

令和4年度 5月号
令和4年 4月28日
横浜市立永谷小学校
校長 平野 好子

スローガンが決定しました

校長 平野 好子

新年度がスタートして1ヶ月が経ち、新緑が目には鮮やかな季節となりました。

子どもたちは、「あいさつをしよう」を4月の生活目標として、このひと月、取り組んできました。私も登校時に正門に立つ際に、子どもたちと明るく笑顔であいさつすることを心がけています。毎朝、子どもたちと交わすあいさつは、一日のエネルギーとなります。また、校内を巡回し、子どもたちが学習に取り組む様子や頑張る姿を見ることで、そのエネルギーは倍増します。子どもたちの笑顔は、私の笑顔も引き出してくれます。

先日、4月25日（月）に1年生を迎える会を校庭で行いました。全校児童が一堂に会するのは、安全訓練（避難訓練）を除くと、昨年度の永谷スポーツフェスティバル以来、本当に久しぶりでした。朝会や集会等も、テレビ放送が主で、画面の向こうにいる子どもたちの様子も想像するしかありませんでしたので、全校児童の様子が直に伝わるこの会は、子どもたち同様、私もわくわくしました。当日は、2年生から5年生、そして、会の運営を行う5・6年生の係の子どもたちが、人との間を取りながら校庭いっぱい広がって並び、6年生とペアになって並んで歩いてくる1年生を温かく迎えました。かけ声は進行役の司会者のみで、体全体を使ったジャンケン大会も永谷小学校の子どもたち一人ひとりが楽しんで行う様子が見られました。

全校児童が集まった1年生を迎える会の中で、運営委員児童が、昨年度からの振り返りを受け、目指したい学校（目標）、そしてその目標に向かうための今年度のスローガンを発表しました。

目指したい学校（目標）は、「**みんなで取り組み みんなで支え合うワンチームの学校**」その目標に向かうためのスローガンは、「**ほりだせ、自分カラット！すすめ！スペースシップ永谷号！**」です。永谷小の子どもたちが、「ワンチームの学校」目指して、スペースシップ永谷号で1年間かけて旅に出ます。スペースシップ永谷号を動かす燃料は、「自分カラット」という宝石であり、自分から取り組んだり、友達と関わったりして、自分から勇気を出して行動したときに現われるのだと全校の子どもたちに説明してくれました。明日の子どもたちの目指すべき姿につながる楽しい会となりました。

日々の学びを友達とともに積み重ねていくことが、子どもたちの成長につながると感じています。新生活様式での生活も三年目となり、日常となってきています。感染症拡大防止のための策は講じながら、今後も子どもたちの安心・安全を最優先に考え、「自ら学ぼう、取り組もうとする姿勢」、「人とのつながり」を、大切にする学校教育活動に取り組んでまいります。

保護者の皆様、地域の皆様の変わらぬご支援・ご協力をお願いいたします。